

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援センターCivitas Solis (児童発達支援)		
○保護者評価実施期間	2025年12月1日		～ 2026年1月16日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20名	(回答者数) 20名
○従業者評価実施期間	2025年12月1日		～ 2026年1月16日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11名	(回答者数) 11名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年1月22日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・構造化支援を取り入れ、障害特性に合わせた個別化された支援を行っていること</li> <li>・保護者の方にも療育の必要性を感じて継続して利用していただけのこと</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもさん一人ひとりの障害特性や理解、スキルのアセスメントを丁寧に行っている</li> <li>・課題が生じた際には、環境設定の再構造化を行っている</li> <li>・保護者の方とは、定期的な懇談や日々の伝達を通じて、支援内容についての情報共有を行っている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続して保護者の方からのニーズを把握し、子どもさんの障害特性に基づいて支援を行う</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員間で共通認識で支援を行うことができていること</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員間でのコミュニケーションが取りやすく、日々の支援に対してスムーズに共有でき、互いに気づきを得やすい</li> <li>・共通認識で取り組むことで、限られた時間のなかで分担しながら業務を行っている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ミーティング等を活用し、支援内容や今後の方向性について情報共有を行う時間を確保する</li> <li>・業務の効率化を図るため、職員全体でゴール設定を協議し、分担して行う</li> <li>・適宜、職員体制の見直しを行う</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所の取組を地域の方々にも少しずつ知っていただき、地域に開かれた施設になってきていること</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用希望のある保護者の方の見学に加え、市の障害福祉課や子ども家庭課等の関係機関、地域にお住まいの方々へも積極的に事業所の取組について周知している</li> <li>・保育・ソーシャルワーク実習生の受入れを行っている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も積極的に地域と連携を図っていく</li> </ul>

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもさんの課題に対する十分な議論の時間が確保できていない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員体制上、全職員が集うことが難しい</li> <li>・限られた時間の中で、氷山モデルシート等を活用して、職員全体で課題を整理することが十分でない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ケース担当だけでなく、職員全体で課題に対する議論が行えるように、ミーティングの仕組みを整える</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所で作成しているマニュアル等を保護者の方に十分に周知することができていない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者の方に分かりやすく説明ができるように、各マニュアルの要点をまとめる必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者会等を活用して、保護者の方に事業所全体の取組を知っていただく機会をつくる</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域における課題やニーズについて情報を得る機会が少ない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外部の関係機関に訪問し、情報を得る機会が少ない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自立支援協議会等に参加して、地域の課題等について把握する</li> </ul>

公表

## 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	児童発達支援センターCivitas Solis (児童発達支援)					公表日	2026年1月30日		
					利用児童数	21名 (2026.1.30)		回収数	20/20
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	20	0	0	0	・狭いと思うこともなく、毎日のびのび活動させていただけに感謝している。	・今後も子どもさんの様子を日々アセスメントし、特性に応じた環境設定を行えるようにしていきます。	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	17	3	0	0	・多めに配置してくださっているのではと思うこともある。 ・活動内容や本人の困り度に合わせて見守りしてもらっている。	・積極的に研修を受け、専門的スキルを持って支援を行えるようにしていきます。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	20	0	0	0	・パーテーションが適切に使用されていて過ごしやすい環境になっている。	・子どもさんの障害特性に応じた環境設定を行います。また、必要に応じて再構造化を行います。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	20	0	0	0	・降園時に先生がトイレ掃除をしておられ、ありがたいなと思った。	・日々の清掃を丁寧に行っています。	
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	19	1	0	0	・プロの視点はありがたく、こちらも勉強になっている。	・引き続き、子どもさんの障害特性に基づいた支援を行います。	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	19	1	0	0			
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	20	0	0	0	・親以上に理解、分析してくださっていて、家族で毎度感動している。	・引き続き、子どもさんの障害特性に基づいた支援を行います。	
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	19	1	0	0		・支援計画について、保護者の方に伝わりやすいように説明を行います。	
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	20	0	0	0			
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	17	2	0	1		・引き続き、活動プログラムが固定化しないように、意図的に変化をつけて対応していきます。	
保 護 者 へ の 説 明 等	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	6	3	3	8		・現在は機会設定を行っていません。 ・要望に応じて全体で検討していきます。	
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	20	0	0	0			
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	20	0	0	0			
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	20	0	0	0	・研修の機会が多いのでとても良い。	・定期的に保護者向けの学習会を行います。また、必要に応じて情報提供を行います。	
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	19	1	0	0	・送り迎え時、先生の丁寧な対応に感謝している。	・引き続き、より丁寧で細やかなやりとりを行うよう努めます。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	20	0	0	0			
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	20	0	0	0	・とてもそう思う。	・引き続き、より丁寧で細やかなやりとりを行うよう努めます。	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	16	3	0	1	・保護者会が楽しみ。イベント（夏祭りやクリスマス会）では、きょうだい児の参加、おやつの確認等までありがとうございます。	・保護者会の開催が円滑に行えるように、支援させていただきます。	
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	20	0	0	0	・必要な書類をお願いしたところ、翌日にいただけることがあった。	・相談や申入れに対して、迅速かつ適切な対応に努めます。	

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	20	0	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	17	2	1	0	・SNS等での発信がもう少しあると良いか。	・今後も保護者の方に必要な情報の周知を行えるようにしていきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	20	0	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	17	1	0	2		・必要なマニュアルを策定した上で、保護者の方に周知を行います。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	20	0	0	0		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	19	0	0	1		・安全の確保のための取り組みについて、保護者の方に周知を行います。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	18	0	0	2	・目視では分からない程度の怪我でもきちんと伝えてもらっている。	・事故や怪我が発生した際は、発生状況について説明します。さらに、再発防止に向けた対応を検討してお伝えします。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	20	0	0	0	・以前通っていたところでは、行き渋りがあったが、チビタスでは最初の1週間だけだった。それだけ本人にとっては「安心してできる場所」なんだと感じる。 ・行き渋りがあつたりもするが、概ね楽しく通えている。	・継続して保護者の方からのニーズを把握し、子どもさんの障害特性に基づいて目標設定を行い、支援をしていきます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	17	3	0	0	・朝、機嫌が悪くても「チビタス行くよ」と言うと「はい!」と準備をしてくれる。	・子どもさんにとって成功体験となるよう、スモールステップで支援を行うことを心掛けます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	20	0	0	0	・大満足。	

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	児童発達支援センターCivitas Solis (児童発達支援)	公表日	2026年1月30日
------	----------------------------------	-----	------------

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		・広さは十分に確保されており、定員に合わせたスペースとなっている。	・今後子どもさんの様子を日々アセスメントし、特性に応じた環境設定を行えるようにしていく。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		・配置基準は満たしている。一方、日々の活動のなかで課題はある。生活シナリオや職員体制の工夫を行っている。	・子どもさんの状態によって課題は生じることが、職員体制を調整する等して柔軟に対応できている。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		・障害特性に応じた構造化支援をしているため、子どもさんにとって分かりやすい環境設定になっている。	・引き続き、障害特性に基づいた環境設定の工夫、さらに必要に応じて再構造化を行う。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		・支援終了後は職員で清掃を行っている。	・必要な箇所は適宜、修繕を行う。 ・感染症対策のため、おもちゃや室内の消毒を行う。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		・必要に応じて環境調整を行っている。子どもさんの状態に合わせて個別対応を行っている。	・子どもさんの状態に合わせて必要な環境設定を行う。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		・ミーティングで各業務担当が議題を挙げ、職員全体で協議することができている。	・定期的なミーティングを実施し、業務を振り返り、改善点を共有する。また、職員全体で共通認識を持ち、業務を的確かつ効率よく行う。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・職員全体で保護者からの評価を共有している。	・評価表の結果に加え、日々の保護者の方とのやりとりでお聞きしたご意見についても職員で共有を行い、改善に繋げていく。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・ミーティング等で業務改善に向けた協議の場を設けている。	・職員間で定期的にコミュニケーションをとる機会を設ける。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		・現在、第三者による外部評価は行っていない。今後法人全体で協議を行う。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・積極的に外部研修を受講し、報告書などを通じて職員全体に共有を行っている。	・今後も積極的に研修を受け、専門的スキルを持って支援を行う。 ・研修終了後は職員間で共有し、職員全体で支援に活かしていく。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		・ホームページにて公開している。	・支援プログラムに基づき、支援を提供する。
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		・アセスメントを踏まえ、ニーズや課題を整理している。 ・年に2回モニタリングを行い、保護者との面談で計画を説明している。	・保護者からのニーズを把握し、子どもさんの理解やスキルをアセスメントしたうえで課題を整理し目標設定を行って支援していく。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		・計画立案に際して、職員全体で検討することができている。	・今後もより良い支援に繋がれるように、職員全体で協議する場を設けていく。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		・ミーティングで子どもさんの現状の課題や今後支援方法、方針を共有することで支援することが出来ている。	・今後も職員全体で共有する場を設け、計画に基づく支援が行えるようにしていく。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		・事業所内で共通のツールを活用し、アセスメントを行っている。	・継続したアセスメントを実施し、個別支援計画を立てる。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		・事業所の統一書式を使い、各領域ごとに細分化した内容で個別支援計画を作成している。	・保護者の方のニーズを踏まえ、またアセスメントに基づいて支援計画を作成する。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		・ミーティングを通して職員全体で情報共有や協議を行い、全員が共通認識で支援を行えるようにしている。	・活動設定の目的や目標を確認し、職員全体で支援が行えるようにしていく。

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		・月ごとに担当職員がカリキュラムを作成している。職員全体で実施しており、適宜見直しを行っている。	・活動が固定化しないように調整を行う。また、アセスメントをもとに活動の幅が広がるように支援していく。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		・社会性の段階に合わせてグループ編成を行い、活動を設定している。	・今後も子どもさん一人ひとりの社会性の段階に応じた機会設定を行う。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		・朝礼で情報共有を行っている。記録を取り、職員全体で共有できている。日々の連絡事項や役割分担はボードに示している。	・記録やボードを活用して、職員全体が共有できるように努める。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		・支援終了後には、職員間で情報共有を行っている。	・定期的に打ち合わせと振り返りを行います。また、ミーティングを開催して職員全体で共有していく。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		・障害特性を軸にケース記録にまとめ、個別支援計画を作成に繋げている。	・今後も、日々の支援の記録をとり、支援の検証や改善に繋げていく。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		・年に2回、モニタリングを実施し、個別支援計画を作成している。必要に応じて見直しを行っている。	・定期的なモニタリングを行い、計画作成を実施する。面談を通して、保護者のニーズを把握し、課題を整理していく。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		・児童発達支援管理責任者とケース担当職員が関係機関との会議に参加している。	・必要に応じて、関係機関との情報共有を行い、多機関連携を行う。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		・必要に応じて市の子ども家庭課や障害福祉課等と連携を図り、ケースについての情報共有を行っている。	・必要に応じて、関係機関との情報共有を行い、多機関連携を行う。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		・園を利用する前に通っておられた保育所等と連携を図り、引継ぎを行っている。他事業所への移行の際は、移行支援会議を開催している。	・子どもさんの障害特性に応じた必要な支援について、関係機関との情報共有を行う。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		・就学時には、移行支援会議で小学校等と連携を取ることが出来ている。	・移行支援会議では、保護者、移行先の職員、相談支援事業所職員にも参加していただき、子どもさんに関わる支援者で連携を図れるように努める。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	○		・他の児童発達支援センターと共同開催し、広島県発達障害者支援センター職員等より保護者向けの学習会を実施している。 ・また、必要に応じて他事業所と情報共有を行っている。	・他の児童発達支援センターや発達障害者支援センターとの連携を行う。積極的に連携を図り、職員の専門スキルを高めていく。
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○		・発達障害に関する支援の専門家に現場を見て助言をいただいている。また、外部研修に参加をしている。	・専門機関の研修に継続的に参加し、質の向上に努める。
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	○			・現在は参加できていない。地域の特性や課題を把握するためにも、今後参加を検討していく。
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○			・現在は、保育所等と交流する機会は設定できていない。子どもさんの障害特性や保護者の方からのニーズをもとに検討する。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		・送迎時や連絡帳でのやりとり、面談等で日々の状況や支援の方向性について共有している。	・共通理解を図り、支援に努めていく。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		・家庭訪問を通じて保護者の方とともに対応方法を整理している。また、保護者向けの学習会では研修の機会を設けている。	・今後も家庭訪問を実施し、ご家庭での困りごとの整理、対応方法について一緒に考えていく。	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		・運営規程や利用者負担については契約時に説明を行っている。	・支援内容について保護者の方に分かりやすく説明を行うよう努める。また、変更点があれば随時説明を行う。	
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		・必要に応じて、面談等で保護者の方とやりとりする機会を設け、意向の確認を行っている。	・保護者の方との共通理解のもとで、計画を作成して支援を行えるように努める。	
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		・年に2回、個人懇談の機会を設定して、支援内容の説明を行っている。	・保護者の方との共通理解のもとで、計画を作成して支援を行えるように努める。	

保護者への説明等	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		・送迎時や連絡帳でのやりとり、必要に応じて電話連絡や面談を実施し、相談対応を行っている。	・今後もより良い対応ができるように努める。また、必要に応じて関係機関との連携を行う。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		・保護者会や茶話会では運営方法や場所の確保等についてサポートをしている。また、親子活動では、きょうだい児にも参加している。	・今後も保護者会の運営を支援していく。必要に応じて、事業所が入り、保護者同士のより良い連携が出来るようにサポートする。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		・苦情窓口を設けているが、直接ケース担当に相談があることが多い。	・保護者より相談や申し入れがあった場合は、速やかに適切な対応を行えるように努める。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		・定期的に通信を発行している。今後、HPで日々の活動の様子を発信する機会を予定している。個人情報保護の観点からSNSの利用には至っていない。	・今後も継続して保護者の方に必要な情報の周知を行う。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		・関係機関との連携や写真掲載時には、保護者に同意を得た上でやっている。	・事業所、法人全体で個人情報の取り扱いに十分注意して業務にあたる。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		・保護者に様々な方法で理解していただけるように努めている。	・他国籍のご家庭にも、より分かりやすい説明を行っている。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。			・地域住民への広報活動、および来訪者への見学対応を行っている。	・現在、地域住民を対象とした行事企画を行っていない。 ・保護者や地域住民のニーズを踏まえ、活動内容を検討する必要がある。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。			・避難訓練を月に1回実施している。	・各マニュアルについて、保護者の方に周知するように努める。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		・職員全員で訓練を行った上で、BCPの見直しを行うようにしている。	・非常災害発生時に備え、職員全体に必要な訓練を行う。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		・入園前に子どもさんの状況を確認している。また、服薬状況等について随時保護者の方と情報共有を行っている。	・事前に十分に確認を行ったうえで、対応を行う。変更等があった場合には、職員全体で共有する。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		・医師からの指示書のもと、アレルギー対応に関する確認書を作成している。	・給食やおやつ提供時にはアレルギーについて十分に注意し、厨房職員や提供する職員がそれぞれ確認を行う。 ・変更があった場合には、職員全体で共有する。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			・不審者対応の訓練等を含め、安全管理のための訓練を行う。また、強風時にテントをしまう等の、日々の業務から安全計画の見直しを行う。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		・緊急時の対応等について、保護者の方に説明している。	・安全確保のための取組について、保護者の方に周知を行うように努める。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		・ヒヤリハット発生時には、書面にまとめ、職員全体で共有している。	・怪我や事故の発生状況や要因を整理し、再発防止に努める。
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・虐待防止についての研修をうけ、職員全体で共通認識を持つようになっている。	・定期的に研修機会を設け、適切な対応に繋げる。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		・3原則に基づき、必要な対応がある場合は、保護者の方に説明を行い、同意を得て支援を行っている。また、書面への記載を行っている。	・定期的に研修機会を設け、適切な対応方法に繋げる。 ・やむを得ない場合は、事業所全体で協議し、保護者の方に説明と同意を得て行う。	